

第1ページ

はじめに

これまで、会報は、第7号まで発行しましたが、各号とも、その時々に必要な連絡事項を掲載するため、時系列的な常小区自主防の動きは分かりにくくなつて参りました。今回は、活動の前提となる想定と設立から令和5年末までの活動状況をまとめて掲載いたしますので、今後とも一層のご理解をお願い申し上げます。

災害規模に対応

常磐地区も過去に様々な災害にさいなまれて参りましたが、これからは、特に地震対策が必要になります。東日本大震災以降、国や関係公団体は、防災の具体策を定め諸施策を実施中ですが、この分野の質と量を決める基礎の一つが、南海トラフ巨大地震の被害想定です。被害想定は、東日本大震災の十数倍という大きな規模を示していくままで留意した備えが必要です。

南海トラフ地震の被害想定

迫られました。

平成23年8月、内閣府は、「南海

で い ま す。

人と経済の被害規模

前述の被害想定は、国や関係公団体が行うあらゆる対策の基礎となるもので、また国民に防災対策の必要性を周知するものでもあります。ところが複雑です。例えば人的被害想定を見てみましょう。

人的被害想定の手法については、

「地震動5ケース」「津波11ケー

ス」「季節と時刻の組合せ3ケー

ス」「風速別」「想定項目として、建物

崩壊・津波・急傾斜地崩壊・地震火

災・ブロック塀倒壊等」、これらの組合せ、並びに①東海地方が大き

く被災するケース②近畿地方が大

きく被災するケース③四国地方が

大きく被災するケース④九州地方が

大きく被災するケースの4つの

ケース別に結果を求めています。

このうち公表は、地震動2ケース、

津波4ケースとの組合せ+季節時

間3種と風速の組合せ、これらの結果を4地方別に想定項目別の公表としています。調査データも膨

大ですが結果も広範で複雑です。

ここでは、わかりやすく最小最大

のみを示します。平成24年8月29日発表の死者数想定は、最小約3万2千人～最大約32万3千人で

ます。令和元年6月にはマクロ把握

を目的として、再計算を行い公表

していますが、死者数想定が、最小6万人～最大23万1千人と最小値が増加最大値が減少しています。

この変動は、建物の耐震性の強化策、家具等の転倒・落下防止対策の強化、津波に対する避難対策、火災に対する防災対策が奏功したものとされています。

経済的被害想定は、手法の記載を省略しますが、平成25年3月18日発表では、資産等の被害合計6兆9千億円、経済活動への影響合計50兆8千億円、総合計2兆3千億円です。令和元年6月の再計算では、資産等の被害合計1兆71兆6千億円、経済活動への影響合計42兆1千億円、総合計2兆13兆7千億円です。

人と経済の被害想定を転記しましたが、規模の大きさをイメージしていただきたいと思います。

香川県と市町別被害想定

同報告書の被害想定総括表によるところ、想定地震を、「南海トラフ(L2)」「南海トラフ(L1)」「中央構造線」「長尾断層」の4種別に、想

定項目を、「建物被害揺れによる被害」など30項目別に各被害想定がまとめられています。このうち、「南海トラフ（L2）」が最大クラスですが、香川県下の死者数6千人、直接経済被害額3兆4千億円と示されています。

そして、同報告書は、県下17市町別に被害想定を示しています。

観音寺市の被害想定

「香川県地震・津波被害想定調査報告書」に記載される観音寺市の被害想定は次のとおりです。

基になる震度分布は、「南海トラフL2」最大クラス、観音寺市の臨海部で震度7、平野部全域が震度6強です。

建物被害（全壊）（冬18時）合計7千6百棟。人的被害（死者数）（冬深夜）合計790人。人的被害（負傷者数）（冬深夜）合計2500人。人的被害（自力脱出困難者）1100人（津波による要救助者）20人。避難者（避難所）（発災直後）1万3千人。（1か月後）6千9百人。避難者（避難所外）（発災直後）8千7百人。（1か月後）1万6千人。断水人口（発災直後）88%5万4千人（1か月後）

32%2万人。停電率（発災直後）100%（1か月後）17%固定電話不通回線率（発災直後）78%（1か月後）8%（ライフライン2項目、交通施設3項目、災害廃棄物量等は記載略）

常磐地区の被害想定

「南海トラフL2」の場合、常磐地区の震度分布は、6強です。これは、熊本地震における、熊本市内最大震度と同じです。熊本市民74万人の約15%11万人が避難所に殺到しました。常磐では常磐人口6354人の同率として950人との震度分布・津波高の被害想定は、内に10.9%に当たり、観音寺市内の震度が7ですから平野部震度6強にあるはそれよりも発生頻度が高くなります。また常磐人口は、観音寺市千人との比例数では約11%の1422人となります。市内臨海部の震度が7ですから平野部震度6強にある常磐の実数は比例数より多少小さくなると思いますが、それでも千人規模の想定が妥当となります。

死者負傷者他の被害も市内人口比を用いるとイメージしやすいと思います。10%と仮定してもこの狭い死地で死者79人、負傷者250人、常磐で死者79人、負傷者250人、人、避難所避難約千人、避難所外避難約870人等々と推測できま

「震度分布・津波高の被害想定は、発生過程に多様性がある南海トラフ地震の一つのケースとして整理されたものであり、実際にこの想定どおりの揺れや津波が発生するというものではありません。また、南海トラフ巨大地震は、千年に一度あるいはそれよりも発生頻度が低く、次に発生する南海トラフ地震を予測したものではないことに留意が必要です。」とあります。

この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当たります。最大の震度分布等の想定は、発生する可能性があるけれども、発生時期とか規模までは予測できませんからその旨厳密な解説を加えています。この被害想定は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つてあります。南海トラフを震源域とする巨大地震は、活断層がもたらす直下型地震と違つて海溝型として周期性がありますから、今や発生を否定できません。政府機関外では諸説ありますが、

被害想定の捉え方

ここで、もう一度これまで記載

した被害想定の性質を補足せねばなりません。気象庁の解説の一部を次に転記します。

「このような甚大な被害想定結果を目の当たりにして、ともすれば、不安感を募らせ、これまでの防災対策が無意味であるかのような風潮が出てくる可能性もあるが、後述するように、しつかりとした対策を講ずれば想定される被害も大きく減少することは明らかである。」「したがつて、ハード・ソフト対策を総動員して地震・津波対策を推進することが必要である。さ

らに、国民一人一人が、今回の被害想定に何ら悲観することなく、①

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

説を加えています。この被害想定

は、防災対策の基準にするけれども、予知ではありませんと言つて

います。南海トラフを震源域とす

る巨大地震は、活断層がもたらす

直下型地震と違つて海溝型として

周期性がありますから、今や発生

を否定できません。政府機関外では

諸説ありますが、

「この記述は、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」が「科学的知見に基づく」と修飾する部分の説明に当

たります。最大の震度分布等の想

定は、発生する可能性があるけれ

ども、発生時期とか規模までは予

測できませんからその旨厳密な解

</div

作業だったかも知れませんが、手順毎の結集で大きな意義を持ちます。中には、もつと統率したい意欲に駆られる方もいらっしゃると思いますが、まだ緒に着いたばかりでですので今後ともよろしくお願ひ致します。誠に有難うございました。

参加されていない大多数の方へ

令和5年度は、避難所を開設する手順毎のリーダーとして、各自治会より合計70名の受講者を派遣頂き、事前に手順別にリーダー訓練を行いました。いざ発災の時、手順毎に一人でも避難所に到達すれば、開設手順書に基づいて初動で手順別実動訓練の実施状況は次のとおりです。

令和5年5月22日（プロセス2リーダー訓練）P2Lと以下に記載する場合アリ）

（P2のリーダー11名が誕生）

令和5年6月12日	（P4L4名）
（P5L2名）	（P6L2名）
（P7L6名）	（P8L12名）
（P9L5名）	（P10L6名）

令和5年7月14日（P11L12名）
令和5年7月24日（P12L10名）

令和5年8月21日（P11L12名）
令和5年8月28日（P12L10名）

以上 8 回、それぞれ 1 時 3 分より 1 ～ 2 時間の模擬訓練でした。が、皆さんそれぞれがどうすれば良いかまで熱心に考えて頂いた印象です。各回において懇親会を行し、新たなコミュニティーを作りたいという気持ちがありましたが、お互いの時間的効率を優先し、また訓練量では、本番を迎えて理解が深まることを期待し必要最低限の内容に治めました。

小学校における第 2 回避難所開設実動訓練本番の参加は、役の重複を除かずに記載すると、指導 3 名、役員と自治会長 29 名、防災会長 15 名（重複 11）、手順別リーダー 66 名、自治会女性部 27 名、地区社協役員 5 名の計 145。役の重複を除く参加実数は、116 名でした。

訓練全体に手順書を交付し進捗を統括するリーダーは、理事の中から 3 名、手順別実動は、事前訓練を受けた手順別リーダー 66 名が担当。それ以外の方に避難者役になつてもらい訓練の流れを把握いただきました。そして、実動を終えたりーダーも避難者として最後に入所しました。

訓練スタートが 14 時 10 分。各手順により、感染症隔離、安全確認、衛生環境確保、スペース設営等を

令和5年1月
避難所利用者登録票、及び
ネックストラップの配布

行い、約1100名の避難所利用者が登録票を受け、入所者番号カードを交付。そして入所を完了したのが15時07分でした。

但し、「常磐地区防災計画」に適するよう住所表示部等を部分補正しています。

登録時には、

- 安否確認の問い合わせ対応のため、氏名や住所の公開をしてよいのか確認を行います。
- DV被害者など、情報の取扱いについて特に注意が必要な方の対応は、取扱者を特定し必要最小限度で行います。
- 障がい者、妊娠婦、アレルギー疾患者、外国人など、特に配慮を要することがあるか確認します。
- 高齢者、障がい者、傷病者など、特に配慮を要する方々（要配慮者）は、状況に応じて福祉避難所や医療機関等に入所できるよう調整します。
- 運営協力のため、特技や資格などがあれば記入していただきまます。

以上時系列に活動状況をまとめましたがいかがでしたか？皆さんご自身やご家庭の減災準備が進むことを期待します。そして「避難者は被災者ですがお客様ではありません。」というフレーズのとおり、被災後の助け合いのことも、お互に考えておきましょう。

おわり